

各 位

2023年11月17日
株式会社天夢人

かつて全国で活躍した小さな鉄道の
待望の入門書！
『軽便鉄道入門』を発売

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:藤岡 功)は、2023年11月17日に、『軽便鉄道入門』(松本典久・著)を刊行いたしました。



小さくて魅力的な鉄道の、これまでになかった入門書

「軽便鉄道」とは、簡便で小型の車両を使う鉄道のことです。通常の鉄道よりも簡易であるだけに、その土地に根付いた個性的な鉄道が誕生しました。かつては全国で活躍し、その地域の人々の生活を支えてきた鉄道だったのです。

本書は、軽便鉄道を鉄道趣味として楽しむための入門書です。現役で活躍する路線を訪ねる、古い資料を調査する、模型で再現する……。さまざまな形で軽便鉄道の楽しみ方を提案します。いざ、魅惑の「軽便鉄道」の世界へ。

【紙面サンプル】



口絵ページでは、現在も見る事ができる軽便鉄道をカラー写真で紹介



本文では軽便鉄道の歴史や魅力をわかりやすく解説



第4章では、模型など軽便鉄道の楽しみ方を提案

【目次】

第1章 軽便鉄道へのいざない

今も残っている軽便鉄道めぐり

- ①三岐鉄道北勢線 ②黒部峡谷鉄道
- ③四日市あすなろう鉄道 ④全国各地の保存鉄道

第2章 軽便鉄道の魅力

「軽便鉄道」ってなんだろう？

そもそも「軽便」とは？

「軽便鉄道」魅力のポイント

人が機関車代わりに「人車軌道」

馬や牛、そして犬までも機関車代わり

山で切り出された木材を運ぶ「森林鉄道」

北海道開拓の生命線だった「簡易軌道」

軽便の象徴!! 「あさがお型」連結器

第3章 軽便鉄道の歴史

「軽便鉄道」の歴史

簡素な法律だった「軽便鉄道法」

「軽便鉄道」の発展に寄与した「軌道条例」

国鉄にもあった「軽便鉄道」

ナローではない「軽便鉄道」もあった

第4章 現代版・軽便鉄道の楽しみ方

ウェブで探る「軽便鉄道」の楽しみ

- ①文献調査 ②地図&空中写真 ③絵はがきなどの資料

- ④Google マップで軽便探訪

廃線探訪の楽しみ 尾小屋鉄道探索

鉄道模型で楽しむ「軽便鉄道」

「軽便鉄道」をテーマにしたおすすめ図書

〈COLUMN〉

「トロッコ」ってなんだろう？

小説や詩に表現された軽便鉄道

全国に保存展示されている軽便鉄道の車両

【著者紹介】

松本典久（まつもと・のりひさ）

1955年、東京都生まれ。東海大学卒業。出版社勤務を経て、1982年からフリーランスの鉄道ライター・ジャーナリストとして活躍。鉄道模型や廃線、鉄道旅行まで、あらゆる鉄道分野にわたる著書多数。近著に旅鉄BOOKS029『昭和・平成の名列車がよみがえる 夜行列車の記憶』、旅鉄HOW TO 011『大人の鉄道模型入門』、旅鉄HOW TO 002『60歳からのひとり旅 鉄道旅行術 増補改訂版』（天夢人）、『鉄道と時刻表の150年 紙の上のタイムトラベル』（東京書籍）、『ブルートレインはなぜ愛されたのか？』『オリンピックと鉄道』『どう変わったか？ 平成の鉄道』（交通新聞社）など多数。

【書誌情報】

書名：『軽便鉄道入門』

仕様：A5判 200ページ

定価：2,200円（本体2,000円＋税10%）

発売日：2023年11月17日

全国書店、オンライン書店のAmazonなどで発売中。

<https://amzn.to/3EDU75i>

【株式会社天夢人】 <https://www.temjin-g.co.jp/>

2007年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道（奇数月21日発売）』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当：揚野

Tel: 03-6837-4680 / E-mail: info@temjin-g.co.jp

URL: <https://www.temjin-g.co.jp/>